

要求仕様書

全体概要

システムの概要

室内の温度が 28 度以上のとき、ユーザに冷房をつけるかどうかを確認する通知を送り、室内の温度が 31 度以上のとき、冷房を強制的に起動して、ユーザのスマホに冷房をつけたことを通知する。LINE を使い、エアコンの調節ができる。

製品の機能

5 分ごとに Remo 3 のセンサを使い室内の温度を取得して Google スプレッドシートに記録する。室内に人がいることを感知して、取得した温度が 28 度以上のとき、ユーザに対して LINE を通じて冷房をつけるかどうか通知する。また、取得した温度が 31 度以上のとき、冷房を 27 度で強制的に起動する。このとき、ユーザのスマホに冷房をつけたことを LINE で知らせる。また、ユーザが LINE のリッチメニューを使ってエアコンの運転と停止、冷暖房の選択、温度の調節ができる。

想定する利用者の特性

エアコンが設置された部屋を利用する人全てが対象である。特に夏場、室温が高いにも関わらず冷房を使用しない人や、無意識のうちの熱中症を防ごうと考える人に有用なシステムである。他に、帰宅時にあらかじめ冷暖房をつけておきたいと考える人に適する。例えば、高齢者のみの世帯において、室温が高いにも関わらず高齢者が暑さを感じず、知らぬ間に熱中症になるといった事態を防ぐことができる。また、子供が親の監視下にないときにも有用である。

詳細

機能要求

- ・スプレッドシートに記録される室温と人感センサの反応をもとに、ユーザは LINE にてメッセージを受け取ることができること
- ・ユーザは LINE のリッチメニューからエアコンの運転と停止・冷暖房の選択・1度ずつの設定温度調節ができること
- ・エアコンに対し上記のいずれかの操作を行ったとき、ユーザは操作内容を LINE のメッセージで受け取ることができること